

タイトル	やんばるの森におけるツバキの森の保全再生	
概要	ツバキ類をはじめとするやんばる自生の有用植物の保護育成活動を通じて、地域住民の参加や都市との交流活動を進めている。	
管理方法・技術的視点	<p>やんばるの森の遊歩道沿いに群生するツバキ等の保護育成活動を実施。地域の参加や都市との交流も進めている。</p> <p>(1)調査・保護活動: 森の調査と母樹調査、実生の調査、開花調査と形質記録、専門家による生き物調査の実施。</p> <p>(2)保護育成活動: 花の良い母樹を選び、風に注意して光を入れ下生えを抑えるなどの手入れを行う。</p> <p>(3)栽培: 森の木立や畑の防風林からツバキの実を採取し種を取り出し選別。直播き・ポット植え付け・ミズゴケ培養など栽培や灌水・養土の管理を工夫するとともに、育苗施設の整備・改善を図っている。防風垣などの植樹や観賞用に提供できるよう3年苗を目処に育苗している。また種から椿油の利用を図っていて、製法の選択や改善など試行を続けている。</p> <p>(4)見本園の設置と植樹・育樹活動: 森の中にツバキを返そうという試み。入り口園地を中心に、地形や環境を選ぶツバキの特性を勘案し、いろいろと保護策を講じながら進めている。</p>	
備考	<p>やんばるの里山に生育するツバキ類の保護と椿油や木炭などの副産物の創出を試行している。その活動を通じて、里地里山の有用植物や多様な生物相の保護と再生を目指す活動に協力するとともに、地域の生活の中でこれら多様な資源の魅力を体験する活動や交流を、若手の集団と連携しその活動を支援・協力する形で取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 母樹木選定や育苗等の継続的活動 母樹周りの手入れ 散策道の巡回管理 地域や若手と連携した学習会などの実施 森や里巡りへの案内 再来者・愛好者との交流
場所・主体	沖縄県国頭郡大宜味村 NPO法人大宜味つばきの会	
URL等	tubaki6@eagle.ocn.ne.jp (メールアドレス)	